

多彩な講座を様々なシリーズで年間約40回開催（1回のみの参加可）

大人が楽しむ科学教室2024

申込フォーム

2次元バーコードまたは下記URLからアクセスし、講座詳細ページから申込フォームへお進みください。

<https://www.kagakukanq.com/otonagatanoshimu>

※フォーム送信後、受付完了のメールがGoogleから自動配信されます。参加確定メールではありません。



往復はがき

※はがき1枚につき1講座1名のみご応募ください。

往信面裏側に応募講座名・申込者氏名・住所・電話番号をご記入ください。

宛先▶▶〒260-0013 千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7階 千葉市科学館「大人が楽しむ科学教室」係

※2024年10月1日より郵便料金が改定となります。返信部含めご注意ください。

※応募者多数の場合は抽選となります。申込フォームでご応募の方は締切後に当選者のみメールでお知らせします。はがきでご応募の方は返信はがきをご確認下さい。

※同一講座に複数回お申込されても1回のお申込として扱います。（申込フォーム・はがき共通）

※講座開始後のご入場や途中退出はできません。時間に余裕をもってお越しください

※当日残席がある場合は、開始15分前より会場にて受付を行います(先着順)。

会場 10階 探究実験室 **定員** 各回30名
対象 高校生以上（テーマに関心のある小中学生の参加可）
申込締切 10月講座…9月5日(木) 必着
11月講座…10月7日(月) 必着

料金 要常設展示入館料
大人600円 / 高校生300円 / 小・中学生100円
※以下の方は購入時に確認できるものをご本人がご提示で無料
・千葉市内在住の65歳以上の方
・障害者手帳をお持ちの方と介護者1名様まで

10月のプログラム

化学月間

オンライン登壇

10/19 土
13:30~15:00

土壌がなければ地球は腐る？万物を育てる土壌

講師 篠原 信(しのはら まこと) | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域 上級研究員

身近にある、すぐ足元に広がっている土壌。でも、こんな当たり前の土壌を、人類は創ることができませんでした。土壌がなければ落ち葉や動物の遺体は腐るだけで分解せず、地球は「腐った星」になってしまいます。腐ったものでは植物は育たず、枯れてしまいます。土壌は、生き物の死骸を分解し、肥料に変え、植物を育てる不思議な能力を備えています。なぜ土壌にはそんな不思議な力があるのか？地球以外の星に土壌はあるのか？それらの秘密を解き明かします。



化学月間

10/20 日
10:30~12:00

深海プラスチック汚染の現状と 海にやさしい素材の開発

講師 磯部 紀之(いそべ のりゆき) | 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海洋機能利用部門
生物地球化学センター 有機分子研究グループ 副主任研究員

有人潜水調査船しんかい6500による調査によって明らかになった、人間の目が届かない深海底が包装容器などの使い捨てプラスチックによって汚染されているという実態をお伝えします。また、海にやさしい新素材として、高い力学物性や加工性を持ちながら深海底でも迅速に生分解される、新規セルロース素材「透明な板紙」についてご紹介します。



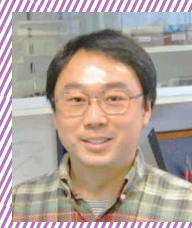
化学月間

10/26 土
10:30~12:00

黒体放射と二酸化炭素の分子 - 光の演示実験も交えて -

講師 森田 剛(もりた たけし) | 千葉大学大学院 理学研究院 化学研究部門 基盤物質化学講座 准教授

冒頭では、二酸化炭素に関係する環境調和型の技術として、超臨界流体やイオン液体を用いた研究について、基礎科学的な超臨界流体やイオン液体の不思議さを含めてお話しします。続いて、分子レベルでの性質の観点で、微視的な世界を理解するために必要な量子論的な立場から、物質が発する黒体放射と二酸化炭素分子との関わりを考えます。本講座の中では、身の回りを取り巻いている様々な光についての小型分光器を用いた演示実験もご覧頂きながら、楽しんでご参加頂ければと思います。



/// 11月のプログラム //////////////////////////////////////

化学月間

11/9 土
13:30~15:00

孔雀の羽のキラキラした色の秘密と再現： 構造色インクの開発

講師 桑折 道済(こおり みちなり) | 千葉大学大学院 工学研究院 共生応用化学コース 准教授

微細で細かい構造に光が当たって反射した際に、特定の光だけが強調されキラキラ輝いて見える色を「構造色」といいます。構造色は生物の発色にも多く見ることができます。本講座では、孔雀の羽に代表される生物の構造色の仕組みを解説します。また、生物の発色メカニズムからヒントを得て我々が開発したメラニン系構造色材料について、実際に構造色が出る様子の実験も交えて紹介します。



健康の科学シリーズ

11/10 日
13:30~15:00

人生の最期まで尊厳が守られる社会を実現する 看護理工学研究

講師 雨宮 歩(あめみや あゆみ) | 千葉大学大学院 看護学研究院 健康増進看護学 講師

世界一高齢化が進む日本で、高齢者の尊厳を守りよりよく生きられる社会を実現するため、自らの臨床経験をもとに看護学の視点で取り組む、認知症ケア×ものづくりを軸とした研究を紹介します。病院・施設において高齢者の身体拘束を削減するICTを活用した世界初のシステムを開発しています。また、在宅療養の場にも着目し、高齢者が住み慣れた地域で安心してくらす社会の実現のため、生活しながら可能な限り自然に取得できるデータから認知機能低下の早期発見と、先回り介護サポートが可能なシステムの開発を進めています。これらの研究の最新の結果も報告します。



身近な科学シリーズ

11/16 土
10:30~12:00

イカの複雑な繁殖行動にみる雌雄のせめぎ合い

講師 岩田 容子(いわた ようこ) | 東京大学 大気海洋研究所 海洋生物資源部門 資源生態グループ 准教授

頭足類(イカ・タコの仲間)は、よく食卓にも上る身近な海洋生物ですが、その生態は意外と知られていません。無脊椎動物としては突出して大きな脳や人間と同じカメラのような眼を持つことから、海の霊長類とも言われています。一瞬で出したり消したりできる体色模様を使って、仲間と複雑なコミュニケーションも行います。本講演では、飼育行動観察などから段々と明らかになってきた、雄同士の熾烈な争いや雄と雌の利益のせめぎ合いなど、イカ類を対象とした繁殖行動研究を紹介します。



健康の科学シリーズ

11/24 日
13:30~15:00

肺の病気を予防するには ～ポストパンデミック編～

講師 潤間 励子(うるまれいこ) | 千葉大学 総合安全衛生管理機構 教授

肺の病気には、結核を代表とする感染症、COPD、がん、など様々な病気があります。COVID-19パンデミックを経験して、マスクやワクチンなど病気の予防方法の知識が広がりました。その経験を活かして、様々な肺の病気を予防する方法を考えていきましょう。



千葉市 科学フェスタ
これからの私たち
2024

お問合せ

千葉県千葉市中央区中央4-5-1 Qiball(きぼーる)内 7-10階
TEL 043-308-0511(代表 9:00~19:00)
<https://www.kagakukanQ.com>

アクセス

電車=JR総武線千葉駅から徒歩15分/京成電鉄千葉中央駅から徒歩6分
千葉都市モノレール=葭川公園駅から徒歩5分
バス=千葉駅東口7番乗り場より中央三丁目下車徒歩1分

